

JR西日本あんしん社会財団

2018年度

いのちのセミナー

～ひとのいのち 私のいのち を考える～

第6回

11月2日(金)
18:30～20:00

小笠原 望 ・大野内科院長



演題

ひとのいのちも
自然の中のもの
～四万十川のほとりの診療所の物語～

応募
締切

10月4日(木)

第7回

11月29日(木)
18:30～20:00

南 直哉 ・福井県霊泉寺住職
・青森県恐山菩提寺院代



演題

魂のゆくえ

応募
締切

10月25日(木)

会場

毎日新聞オーバルホール
(JR大阪駅より徒歩8分)

応募
方法

ホームページからご応募ください。*第6回、第7回の各別にお申込みください。

JR西日本財団

検索

定員

480名(参加無料)

※応募多数の場合は抽選となります。
当日は、参加証をお持ちの方のみ入場・着席していただけます。

お問い合わせ

JR西日本あんしん社会財団
TEL 06-6375-3202(平日10:00～17:00)

〈主催〉公益財団法人JR西日本あんしん社会財団 〈協力〉西日本旅客鉄道株式会社

(敬称略)



公益財団法人

JR-West Relief Foundation

JR西日本あんしん社会財団

2018.9.5～2018.10.25

2018年度 いのちのセミナー

～ひとのいのち 私のいのち を考える～

第6回
講師

小笠原 望氏

・大野内科院長



1951年高知県生まれ。1976年弘前大学医学部卒。1977年高松赤十字病院内科勤務、1997年大野内科(高知県旧中村市、現四万十市)副院長となり、2000年より院長。田舎のかかりつけ医としての訪問診療、神経難病やこころのケアに「白髪のゲリラ」医者として奮闘中。

著書に『いのちを支える』『いのちばんざい』『いのちの仕舞い』など。「診療所の窓辺から」をスタイルアサヒに連載中。

演題

ひとのいのちも自然の中のもの

～四万十川のほとりの診療所の物語～

「患者さんのいのちもぼくのいのちも、いのちはいのち」。日本最後の清流と呼ばれる四万十川の堤防を往診車で走りながら、自然のなかのひとのいのちを強く感じます。いのちは自然のなかで、やっぱりよく似合う。とくに終末期のいのちは、見慣れた風景、なじみのひとたちのなかが一番。そんな四万十川のほとりの診療所での患者さんとのやりとりのなかで思う、ひとのいのちについてお伝えします。

- 応募締切：2018年10月4日(木)必着
- 参加証発送予定日：2018年10月16日(火)頃

第7回
講師

南 直哉氏

・福井県霊泉寺住職
・青森県恐山菩提寺院代



1958年生まれ。早稲田大学第一文学部卒業後、大手百貨店勤務を経て、1984年に曹洞宗で出家得度。同年に曹洞宗大本山永平寺に入山し、約20年の修行生活を送る。2003年に同寺を下山。現在、福井県霊泉寺住職、青森県恐山菩提寺院代。

著書に『語る禅僧』『なぜこんなに生きにくいのか』『刺さる言葉「恐山あれこれ日記」抄』『「悟り」は開けない』『禅僧が教える 心がラクになる生き方』など。

演題

魂のゆくえ

本州最北端の霊場・恐山。何故に人ははるばるこの地を訪れるのか。私は、院代(住職代理)としてこの地で15年を過ごし、またこの間、東日本大震災の犠牲者遺族に接することになりました。そのような経験から、我々にとって「死者」とはどのような存在なのか。それは我々の生にいかなる意味を持つのか。このことを「魂」の問題として、考えたいと思います。

- 応募締切：2018年10月25日(木)必着
- 参加証発送予定日：2018年11月8日(木)頃

応募方法

ホームページ
から

JR西日本財団

検索

ホームページの応募フォームからお申込みください。

※応募多数の場合は抽選となります。

ホームページから応募ができない場合は、ハガキに「希望の回(第6回又は第7回)いのちのセミナー参加希望」と明記の上、①氏名・フリガナ ②郵便番号 ③住所 ④電話番号を記載し、下記の宛先へお送りください。

※1枚につき1名様のご応募とさせていただきます。

〒530-8341 大阪市北区芝田二丁目4番24号 JR西日本あんしん社会財団

- ご応募いただいた個人情報は当セミナーの運営及び当財団からのお知らせ以外の目的には使用しません。
 - ご参加いただける方には参加証をお送りします。
- ※抽選になった場合の結果のお知らせは参加証の発送をもって代えさせていただきます。

会場案内

- JR「大阪駅 桜橋口」より徒歩8分
- 地下鉄四つ橋線「西梅田駅」より徒歩5分
- 阪神「梅田駅」より徒歩5分

